

平成25年度、各地区で地域福祉保健計画の中間振り返りが行われました。引き続き様々な取組がされています。今回は大久保最戸地区の「地区別計画普及版リーフレット」の作成と、日野地区の防災をテーマに障害者の視点を取り入れた意見交換会をご紹介します。



大久保最戸地区「地区別計画普及版リーフレット」

～全戸配布で参加・協力の呼びかけ～

大久保最戸地区の地域福祉保健計画は、『一人ひとりが自分の暮らす町への興味を持とう』『安全安心の魅力あるまちづくりをすすめよう』『ハイタッチができる町を作ろう(積極的な参加・協力で「顔の見える」関係づくり)』の3つの目標を掲げています。この3つの目標について、昨年度に取組を振り返り、住んでいる地域の良さを再発見できたり、参加した住民が取組に興味を持てたといった効果が確認できました。そして、さらに計画を進めるために、平成26年3月に地区別計画普及版リーフレットを作成し、全戸配布を行いました。



地区別計画普及版リーフレットのポイント

ポイント

1 年度ごとにわかりやすく

3つの目標と目標実現に向けた年度ごとの主な取組が紹介され、それぞれの取組の関係がわかりやすくまとまっています。



ポイント

3 まち歩きに活用

24年度に作成した、地区の見どころをまとめた「いいところMAP」も掲載。25年度からすでに3回まち歩きイベントで活用されています。

ポイント

2 初めての方が安心して参加できるように

「子育てママパパにほっとできる空間を」との思いで始まった「Heart Cafe」の紹介では、参加したママ達の声に掲載し、これから参加する人でも安心して参加してもらえる工夫がなされています。



港南区 みんなでウォーキング推進

港南区ではあらゆる世代に対して、ウォーキングを通じた健康づくり、つながりづくり、地域の元気づくりを推進しています。

今年11月からは、市のウォーキングポイント事業が始まります。

40歳以上の方が参加登録し、専用の歩数計でポイントをため、たまったポイントで景品と交換できるため、楽しみながら健康づくりに取り組むことができます。

9月から申し込み受付が始まる予定です。



港南区ウォーキング推進キャラクター「ひまわりくん」

第2期港南区地域福祉保健計画とは?

誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、区民のみなさん、関係団体、関係機関、行政が協力して、地域の中でお互いに支えあえる関係をつくることを目指す計画です。平成23年度から27年度までの5年間の取組の方向性を8つのテーマで示した「全体計画」と、15の連合町内会(地区社会福祉協議会)エリア毎に各地区の特性を活かした「地区別計画」で構成されています。

